



▲80年前の筑紫野市内における防空壕前の写真と、同一とされる現在の場所(筑紫)

特集

戦後80年

戦争の残痕と

平和の継承

終戦の日となる昭和20(1945)年8月15日から今年で80年。

かけがえない多くの命を奪い去る戦争の恐怖を忘れてはいけません。

今月の特集は、市内に残る戦争の「残痕」と平和の「継承」をテーマに、戦争の悲惨さと平和の大切さについて考えます。

問 秘書広報課

戦争の 残痕

戦争の被害や影響は、沖縄や本州、福岡市などの都市部のみでなく、筑紫野市にも及び、かけがえのない命を奪いました。

筑紫野市に残る戦争の傷痕。

その中のいくつかを紹介します。

第十六方面軍司令部跡

市内山家に残る、山を切り抜いて作られた日本軍の指揮所の跡です。北壕150メートル、南壕200メートルの幹線トンネルが複数本作られ、最大断面は幅13メートル、高さ7メートルの急造の洞窟陣地です。

戦争末期、次第に追い詰められていった日本軍は、本土防衛、九州決戦と方針を大きく変えることを余儀なくされました。この急造された洞窟陣地には、九州を統括する「第十六方面軍」が配備され、司令官はここから指揮を行っていました。



①

西鉄筑紫駅列車銃撃事件

市内において最大の戦禍となった事件。終戦1週間前に、筑紫駅近辺を進行する上りと下りの電車2本が、アメリカ軍戦闘機複数機からくり返し機銃掃射を受けました。

大勢の人が乗る電車の中、逃げる場所もなく、一方的に銃撃を受けたこの事件は、64人が即死、100人以上が負傷したという記録が残っています。しかし、140人以上の人が亡くなっ



②

たという目撃者の証言もあり、正確な死傷者数ははっきりとはしていません。

また、事件当時の映像が米国国立公文書館に残っています。



③



▲市公式YouTube
でも本事件を紹介
しています

戦役関係碑

市内には太平洋戦争関連のものを含め、戦役に関係する石碑が181基確認されています(平成28年度時点)。石碑には、慰霊碑や墓碑などがあり、市内に点在しています。慰霊碑は戦後に建てられたものが多く、大きなものになると、223人もの戦没者名が刻まれた「太平洋戦争殉国銘碑」(市内塔原)があります。

また、旧御笠村町役場の資料によると、旧御笠村から太平洋戦争へ出兵した人の内、通知のあった人だけでも、134人もの戦死者が出たという記録が残っています。昭和27年、旧御笠村では、戻ることのなかった戦死者を慰霊するため、「忠魂碑」(市内吉木)が建立されました。



二日市保養所



終戦を迎え、旧満州(現 中国東北部)や朝鮮半島などからの博多港への引揚者はおよそ139万人とされています。

日本に引き揚げてくる途中、外国兵などから暴行を受け妊娠、あるいは性病に感染した女性たちや、故郷を前に自ら命を絶った少女がいたと伝えられています。

引揚者の健康回復のため、昭和21(1946)年3月25日、厚生省は博多引揚護局保養所を設置。通称を「二日市保養所」といいました。当時、堕胎は非合法であったため、京城帝国大学医学部の医師たちは、ひそかに堕胎手術や性病治療を施しました。

二日市保養所の建物は、その後、福岡県済生会二日市病院となり、現在その跡地は特別養護老人ホームむさし苑の敷地内にあります。



- ①第十六方面軍司令部跡の内部 ②旧西鉄筑紫駅舎(筑紫コミュニティセンター横)
③アメリカ軍戦闘機のガンカメラからの映像(米国国立公文書館所蔵) ④太平洋戦争殉国銘碑(市内塔原)
⑤忠魂碑(市内吉木) ⑥二日市保養所入口 ⑦二日市保養所の外観

平和の継承

長い時間の経過の中で、戦争の傷痕は失われつつあります。

そのような中、戦争という惨劇を繰り返すことのないように、そして次世代へと平和を継承していくために、さまざまな活動が行われています。

未来に生きる世代が笑って幸せに生きるために、現代の私たちはなにができるでしょうか。

戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さを継承している活動に取り組む人々から話を聞きました。

第十六方面軍司令部跡

第十六方面軍司令部跡について調べ続けています。この地下壕は突貫工事ということもあって、作業には、自主的に働きに来た人もいれば、連れてこられた外国人などもいました。現在はこの地下壕に立ち入ることができなくなっています。

戦争が終わると、多くの兵隊が地元に戻るために家具や装備品を山家の民家などに預け、そのまま戻って来ずに、処分に

困りました。また、司令部を作るために整備したものが後々、地域間での争いの火種となることもありました。

戦争は終わっても、その後始末に巻き込まれる人たちも犠牲者です。

人間は、過去の後悔から反省して学んでいかないといけないと思います。



山家在住
石川 榮次郎さん



▲石川さんが作成した司令部跡の模型

8・8 筑紫平和シンボル 継承のつどい

西鉄筑紫駅列車銃撃事件があった8月8日、被災された方への追悼と平和への願いや誓いを継承するため、毎年式典を行っており、30年以上続いています。式典では、関係者による焼香や、下見保育所の子どもたちが平和への願いを込めた千羽鶴を奉納しています。

私自身も筑紫野市内でのことではないですが戦争を経験し、焼夷弾が落とされる光景や

戦争の怖さを幼いながらに覚えています。

式典を続ける中で、この惨事から80年が経過し、関係者の高齢化が進み、戦争の悲惨さが風化し、忘れられつつあると感じます。この式典は追悼の意味もありますが、今の平和を続けるために必要だと強く感じています。



▲昨年度の継承のつどい



筑紫区 区長
大石 英樹さん

その他の活動

戦没者追悼式

筑紫野市では、毎年10月に生涯学習センターで戦没者追悼式を行っています。

今年度の式典の詳細は、広報10月号でお知らせします。



二日市保養所 パネル展示

二日市保養所についてのパネル展示を行います。

日 8月6日(木)～19日(火)※最終日は15時まで

場 生涯学習センター 1 階多目的ホール

また、「女性の人権と平和」についての講演会を行います。詳細は市ホームページをご確認ください。

ID 36629

問 人権政策・男女共同参画課 男女共同参画担当

☎ (918)1311

歴史博物館企画展

戦後80年となる今年、歴史博物館では「戦時下を生きた二人のものがたり」をテーマに、戦時下を生きた二人の一生とそこから見える時代背景を振り返ります。

日 10月11日(土)～12月14日(日)

場 歴史博物館企画展示室

問 文化財課 ☎ (922)1911

ふつ か いち ちゅう がっ こう へい わ がく しゅう 二日市中学校 平和学習



二日市中学校
平和集会実行委員

二日市中学校では、希望した生徒およそ80人が平和学習の実行委員として、戦争遺構を学習する班と身近な平和を考える班に分かれ、戦争について学んでいます。8月6日(木)には、実行委員が全クラスで平和学習を主催し、戦争とは何か、平和とは何かを一緒に考えます。また、令和8年1月10日(出)

には、「人権尊重のまちづくり サポーター養成講座」の中で学んだことを発表する予定です。

戦争について学び平和について考えながら、自分なりの答えを見つけたいと思っています。



▲平和学習では実行委員が先生になります

さい せい かい ふつ か いち びょう いん みず こ く よう さい 済生会二日市病院 水子供養祭

二日市保養所は昭和22年に閉所し、施設の建物を引き継ぐ形で済生会福岡病院分院(現 済生会二日市病院)が開所しました。昭和57年、当時の院長が堕胎された胎児の供養のために水子地蔵堂を建立し、毎年5月14日に供養祭を開催しています。



▲今年度の水子供養祭

記録によると、200人を超える女性が二日市保養所で中絶手術を受けました。当時の医師たちは、性暴力の被害を受けた

女性の苦しみと、罪のない胎児の命に、寄り添い続けたのだと思います。

戦争は、遠い昔、遠い国の出来事ではなく、いつ身近に迫ってくるかわからないのです。水子地蔵堂での供養祭を続けていくことで、戦争を知らない世代にとって、平和や命について考えるきっかけになればと願っています。



済生会二日市病院
壁村 哲平院長